

重要取組シート

取組項目	不登校の子どもの学びとつながり																		
現状・課題	【現状】 ○本市の不登校児童生徒数の推移																		
	<table><tr><td></td><td>平成 30 年度</td><td>令和元年度</td><td>令和 2 年度</td><td>令和 3 年度</td><td>令和 4 年度</td></tr><tr><td>小学校</td><td>325 人</td><td>333 人</td><td>537 人</td><td>632 人</td><td>811 人</td></tr><tr><td>中学校</td><td>601 人</td><td>644 人</td><td>768 人</td><td>878 人</td><td>1,144 人</td></tr></table>		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度	小学校	325 人	333 人	537 人	632 人	811 人	中学校	601 人	644 人	768 人	878 人	1,144 人
		平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度	令和 3 年度	令和 4 年度													
	小学校	325 人	333 人	537 人	632 人	811 人													
	中学校	601 人	644 人	768 人	878 人	1,144 人													
	○本市の児童生徒の不登校に関する状況 令和 5 年度に実施した「不安や悩み等に関するアンケート調査」※における「一番最初に学校に行きづらい、休みたいと感じ始めたときのきっかけ」（上位 3 項目）※本市立学校に在籍する小学校 5 年生から中学校 3 年生までの児童生徒を対象に実施。																		
	<table><tr><td>上位</td><td>小学生</td><td>中学生</td></tr><tr><td>1</td><td>友達のこと（いやがらせやいじめがあった） 31.8%</td><td>友達のこと（いやがらせやいじめがあった） 40.8%</td></tr><tr><td>2</td><td>先生のこと（合わなかった、怖かったなど） 23.8%</td><td>先生のこと（合わなかった、怖かったなど） 23.9%</td></tr><tr><td>3</td><td>勉強のこと（勉強がわからなかった、授業が面白くなかった、成績が良くなかったなど） 20.3%</td><td>友達のこと（いやがらせやいじめ以外） 22.9%</td></tr></table>	上位	小学生	中学生	1	友達のこと（いやがらせやいじめがあった） 31.8%	友達のこと（いやがらせやいじめがあった） 40.8%	2	先生のこと（合わなかった、怖かったなど） 23.8%	先生のこと（合わなかった、怖かったなど） 23.9%	3	勉強のこと（勉強がわからなかった、授業が面白くなかった、成績が良くなかったなど） 20.3%	友達のこと（いやがらせやいじめ以外） 22.9%						
	上位	小学生	中学生																
	1	友達のこと（いやがらせやいじめがあった） 31.8%	友達のこと（いやがらせやいじめがあった） 40.8%																
	2	先生のこと（合わなかった、怖かったなど） 23.8%	先生のこと（合わなかった、怖かったなど） 23.9%																
3	勉強のこと（勉強がわからなかった、授業が面白くなかった、成績が良くなかったなど） 20.3%	友達のこと（いやがらせやいじめ以外） 22.9%																	
○近年の動き、取組																			
➤ 令和 4 年 12 月 生徒指導提要改訂（文部科学省） ➤ 令和 5 年 3 月 誰一人取り残されない学びの保障に向けた不登校対策（COCOLO プラン）策定（文部科学省） ➤ 令和 5 年 7 月 本市児童生徒の不登校に関する状況を把握するため、「不安や悩み等に関するアンケート調査」を実施 ➤ 令和 6 年 2 月 学びの多様化学校の設置に向けて【手引き】改定（文部科学省）																			
【課題】																			
○「不登校により学びにアクセスできない子どもたちをゼロにする」との目的を実現するため、課題解決に向け、以下の取組を推進する必要がある。																			
➤ 楽しく思える、安心できる学校環境の形成 ➤ 不安や悩みの早期発見 ➤ 不安や悩みの軽減・解消 ➤ 多様な実施主体との連携 ➤ 状況に応じた行動ができる体制の強化																			

取組の内容

- 楽しく思える、安心できる学校環境の形成
 - いじめ防止授業の実施（法律、SOS の出し方、傍観者から仲裁者や相談者への転換）
 - hyper-QU の試験的实施
- 不安や悩みの早期発見
 - いじめ認知共有システム（i システム）の活用
 - hyper-QU の試験的实施 再掲
- 不安や悩みの軽減・解消
 - 不登校につながらないための専門家（スクールソーシャルワーカー等）による個々に応じた支援
 - いじめ認知共有システム（i システム）に議事録作成機能を追加【拡充】
 - SNS 等を活用した相談窓口の設置
- それぞれの子どもが安心できる居場所の確保
 - 教育支援教室での支援（常設教室 2 カ所、出張教室 2 カ所）
- 多様な実施主体との連携
 - 市長事務局と連携した不登校児童生徒への支援やいじめの早期発見・早期対応の取組実施
 - 堺市不登校支援ネットワーク連絡協議会の開催
 - 不登校支援施設一覧の作成・公開【新規】
 - 不登校児童生徒の保護者同士のつながりをつくるイベント等の開催
- 状況に応じた行動ができる体制の強化
 - 全中学校及び小学校 19 校に生徒指導主事を専任配置
 - 専門家チームの活用
 - いじめ巡回相談員、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー、弁護士等を派遣し、いじめ・不登校などに対する初期対応の助言や児童生徒の背景調査等をふまえた対応を実施
 - 「いじめの重大事態から学ぶ対応事例集」の活用【新規】
 - 教職員の対応力を高めるいじめ防止研修の実施
 - 専門家チームが作成したいじめ防止動画のオンライン研修の実施
 - 発達段階に応じた情報モラルに関する指導の実施
 - いじめ、デート DV（性暴力）防止に向けた教員対象研修会の実施と指導実践
 - いじめの重大事態アセスメントプログラムの活用
 - 「いじめ対応チェックシート」の活用

スケジュール	前期 (～7月)	☐ 予防と育成の生徒指導支援システム会議（生徒指導担当者を対象とした研修）の実施（4月） ☐ 教職員の対応力を高める事例を活用したいじめ防止研修の実施（5月） ☐ 堺市小・中学校生徒指導研究協議会の開催（5月） ☐ hyper-QU の試験的实施（調査1回目）（5月～6月） ☐ 堺市不登校支援ネットワーク連絡協議会の開催（5月） ☐ デートDV 防止に向けた研修の実施（6月～7月） ☐ ネットいじめ防止にむけた指導者研修の実施（7月） ☐ 性暴力被害への予防と対応研修の実施（7月） ☐ 不登校支援施設一覧の公開（7月）
	中期 (～11月)	☐ 堺市小・中学校生徒指導研究協議会の開催（8月） ☐ 予防と育成の生徒指導支援システム会議（生徒指導担当者を対象とした研修）の実施（10月） ☐ hyper-QU の試験的实施（調査2回目）（10月～11月） ☐ 不登校児童生徒保護者向けイベントの実施（子ども青少年局と共催）（10月）
	後期 (～3月)	☐ 堺市小・中学校生徒指導研究協議会の開催（2月） ☐ 堺市不登校支援ネットワーク連絡協議会の開催（2月）
	次年度以降	
進捗の状況	前期 (～7月)	☐ 予防と育成の生徒指導支援システム会議（生徒指導担当者を対象とした研修）の実施（4月） ☐ 教職員の対応力を高める事例を活用したいじめ防止研修の実施（5月） ☐ 堺市小・中学校生徒指導研究協議会の開催（5月） ☐ hyper-QU の試験的实施（調査1回目）（5月～6月） ☐ 堺市不登校支援ネットワーク連絡協議会の開催（5・6月） ☐ デートDV 防止に向けた研修の実施（6月～7月） ☐ ネットいじめ防止にむけた指導者研修の実施（7月） ☐ 性暴力被害への予防と対応研修の実施（7月） ☐ 不登校支援施設一覧の公開（7月）
	中期 (～11月)	☐ 堺市小・中学校生徒指導研究協議会の開催（8月） ☐ 予防と育成の生徒指導支援システム会議（生徒指導担当者を対象とした研修）の実施（10月） ☐ hyper-QU の試験的实施（調査2回目）（10月～11月） ☐ 不登校児童生徒保護者向けイベントの実施（子ども青少年局と共催）（10月）
	後期 (～3月)	☐ 堺市小・中学校生徒指導研究協議会の開催（2月） ☐ 堺市不登校支援ネットワーク連絡協議会の開催（2月）

(様式 4)

2025 堺市基本計画	該当する 施策	3ー（3）多様性を尊重した教育の推進		
	寄与する KPI	「自分にはよいところがある（当てはまる・どちらかとい えば当てはまる）」と答えた児童生徒の割合 〔現状値：小6 83.1% 中3 73.2%（2019年度） 小6 84.4% 中3 80.2%.（2023年度）〕		目標値（2025 年度）
				小 6 90.0% 中 3 90.0%
		「人が困っているときは、進んで助けている（当てはまる・ どちらかといえば当てはまる）」と答えた児童生徒の割合 〔現状値：小6 89.3% 中3 85.4%（2019年度） 小6 92.6% 中3 88.5%.（2023年度）〕		小 6 94.0% 中 3 90.0%
未来都市計画 堺市SDGs	最も貢献する SDGsのゴール	ゴール番号	質の高い教育をみんなに	
		4		
	寄与する KPI	—		目標値（2025 年度） —